

## 路地百選推薦書

推薦者氏名：別府オダサク倶楽部・中野護

推薦する路地（のまち）の名称	豊後浜脇温泉・丸井戸のある路地
所在地	大分県別府市浜脇1丁目

**【推薦する理由（路地のよいところ）】**

豊後とは現在の大分県。大分県別府市は「別府温泉」として知られている。今では「別府温泉」として一括りにされているが、明治から昭和にかけて別府町、浜脇村、鉄輪村、堀田村、亀川町などが町村合併し、「大別府」となる以前はそれぞれが、別府温泉、浜脇温泉、鉄輪温泉、堀田温泉、亀川温泉として独立・自立した温泉地として繁栄した。

中でも浜脇温泉は別府発祥の地とされる歴史ある湯治場。鎌倉室町に豊後府内（現在の大分市）に拠点を置き九州一円を支配した大友家。キリシタン大名として知られる大友宗麟は浜脇に館を構え、豊後に招聘した聖フランシスコ・ザビエルを浜脇館や浜脇温泉に案内したとされている。宗麟は豊臣秀吉とともに堺で千利休に茶の湯を習い、浜脇館にも茶室を設けた。浜脇には、宗麟が茶の湯に使ったとされる井戸「角清水」跡が今も残る。

一方、丸井戸のある路地の井戸の来歴は不詳だが江戸末期の弘化の頃ともされるが、浜脇館に近接していることから宗麟時代にはすでにあつたとの考察もあり、宗麟がザビエルとともに、この井戸の水でたてた濃い茶を楽しんだ……かもしれません。

**【写真添付】**

丸井戸で水くみ体験する町歩き参加者



↑左は明治6年築。登録文化財の「桝屋」

路地のまちの概要	面積	約	h a	路地の延長	幅約3㍍	延長約150㍍
	まちの成り立ち、特色等					

路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。